

1.3. お住まいの地震対策について（問33～問36）

問33 お住まいの住宅の着工はいつですか。（n=2,323）

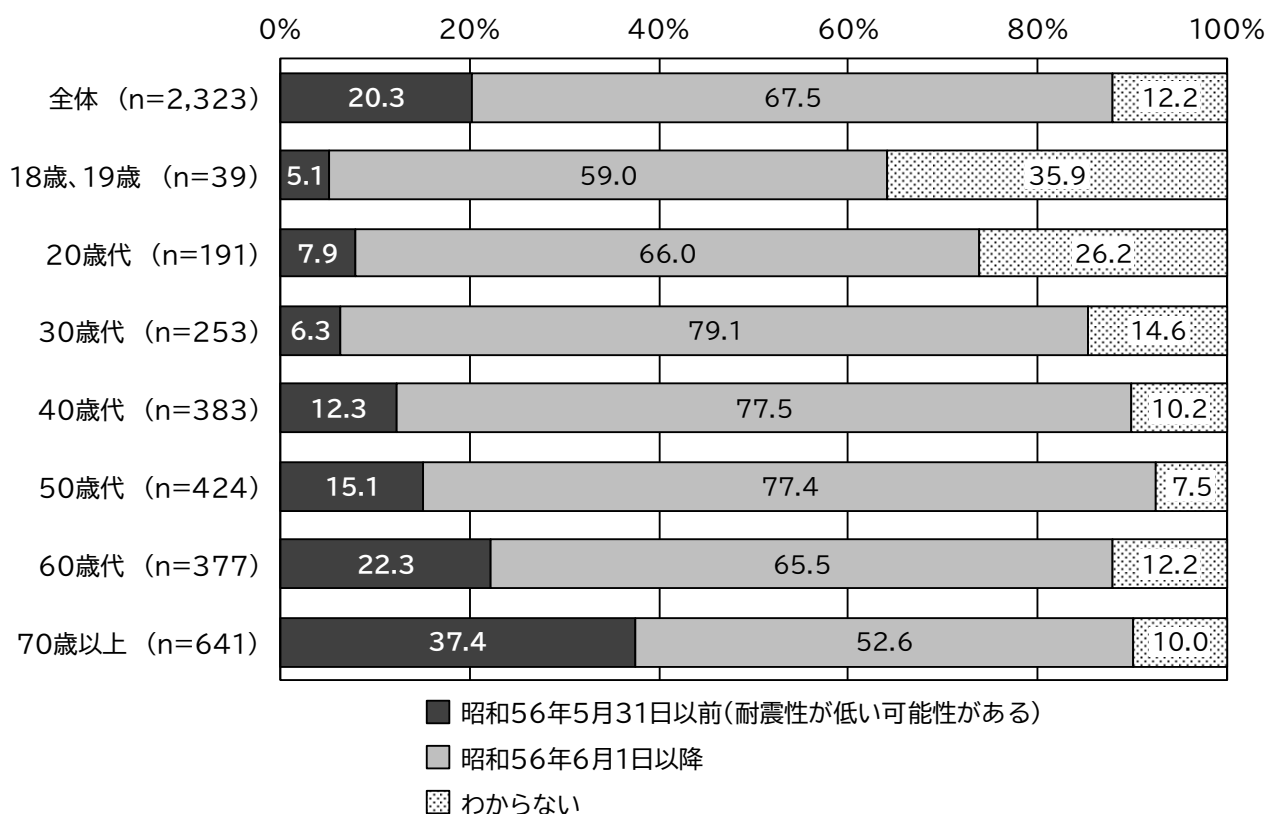
（1）全体的傾向

「昭和56年6月1日以降」と回答した人の割合が67.5%と最も高く、次いで「昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）」（20.3%）、「わからない」（12.2%）となっている。

（2）年代別にみた特性

すべての年代で、「昭和56年6月1日以降」と回答した人の割合が最も高くなっていく。特に30歳代から50歳代は77.4%～79.1%と7割を超えている。

また、「昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）」と回答した人の割合は、年代が高くなるほど高くなっており、70歳以上は、37.4%と他の年代と比べ高くなっている。



<問33で「昭和56年5月31日以前（耐震性が低い可能性がある）」と答えた方にお聞きします。>

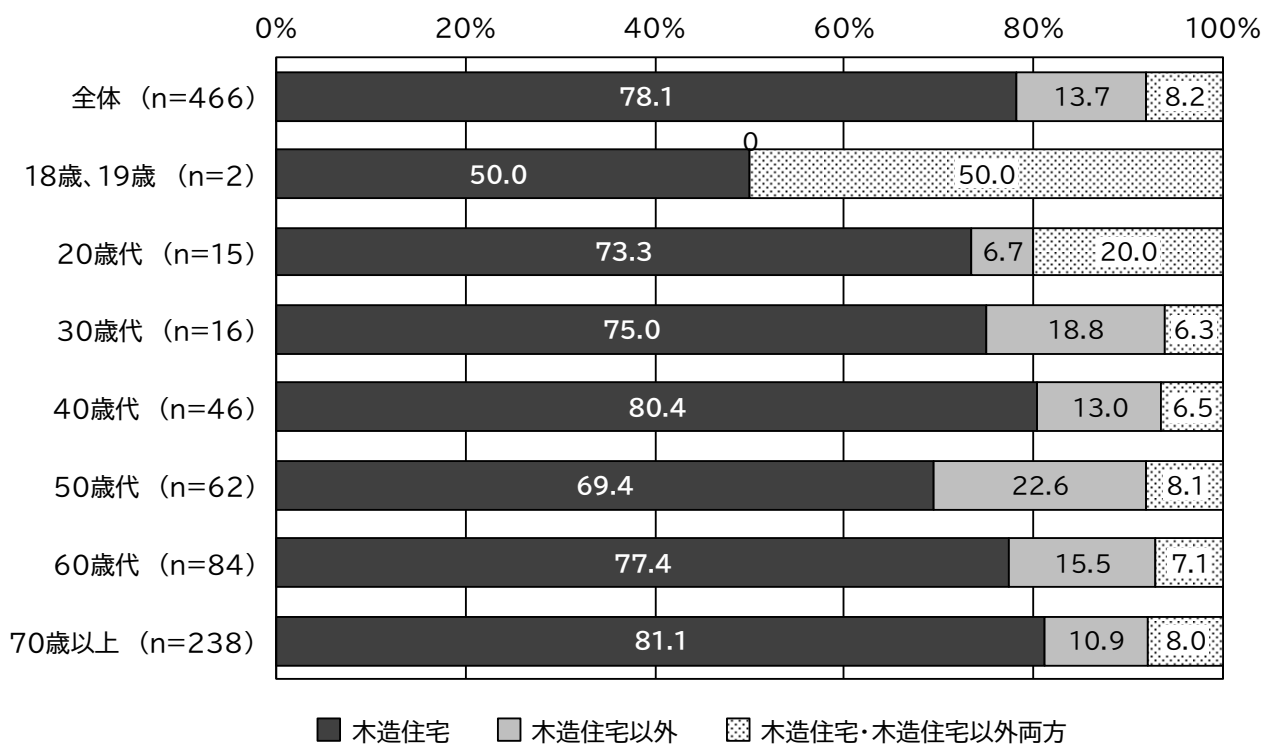
問34 お住まいの住宅は、木造ですか、木造以外（鉄骨造、鉄筋コンクリート造等）ですか。（n=466）

(1) 全体的傾向

「木造住宅」と回答した人の割合が78.1%と最も高く、約8割となっている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため、20歳代以上でみると、「木造住宅」と回答した人の割合が69.4%~81.1%と最も高くなっている。



問35 お住まいの住宅に対して、どのような地震対策をしていますか。

(複数回答：n=446)

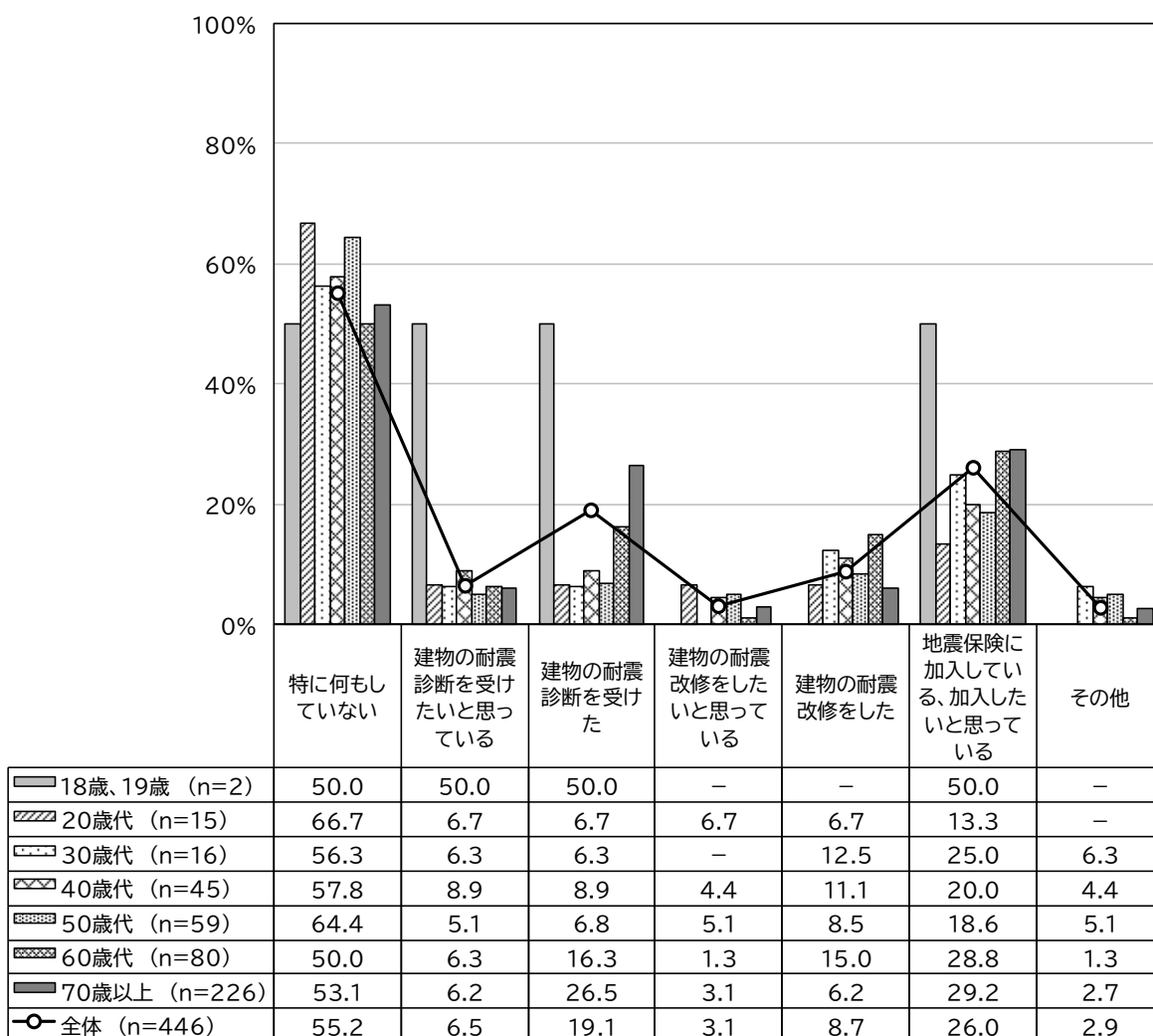
(1) 全体的傾向

「特に何もしていない」と回答した人の割合が55.2%と最も高く、次いで「地震保険に加入している、加入したいと思っている」(26.0%)、「建物の耐震診断を受けた」(19.1%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答数が少ないため、20歳代以上でみると、すべての年代で、「特に何もしていない」と回答した人の割合が50.0%~66.7%と最も高くなっている。

また、「地震保険に加入している、加入したいと思っている」と回答した人の割合が30歳代以上は、18.6%~29.2%と高くなっている。



<問35で「特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。>

問36 地震対策をしていない理由は次のうちどれですか。（複数回答：n=223）

(1) 全体的傾向

「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が56.1%と最も高く、次いで「耐震診断にお金がかかる」(37.7%)、「耐震改修しても安心できない」(17.5%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

18歳、19歳は回答がなかったため、20歳代以上でみると、30歳代以上は「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が48.0%~66.7%と最も高くなっている。

また、30歳代は、「耐震改修期間中、生活が不便になる」と回答した人の割合が44.4%、40歳代は、「自分が所有している住宅ではないため(借家など)」と回答した人の割合が32.0%と他の年代と比べ高くなっている。

